

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	准教授	大江登美子	教育学修士

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) タブレット端末により製作デモンストレーションを示し理解を促す授業の実践	2015年4月～現在に至る	佐賀女子短期大学こども未来学科の授業「美術工芸Ⅰ」「美術工芸Ⅱ」において、学生が平面や立体の様々な表現技術を身に付け、豊かな表現活動を行うことにつなげるために、教員の実演をタブレット端末を通して画像を示し、制作方法の理解につなげ、積極的に素材に触れ、自由な表現が可能となる授業を実践した
佐賀女子短期大学SD委員会による評価	2016年7月	佐賀女子短期大学こども未来学科こども保育コースにおける27年度の担当科目「レクリエーションワーク」が最優秀授業賞を受賞した。
授業資料のWEB掲載	2020年4月～2023年3月	授業の資料等を学内のサーバーにアップロードし、学生が随時閲覧できるようにしている。
授業資料の動画配信	2021年4月～2023年3月	表現技術等に関する授業の資料として、手元を撮影した動画等を編集し、動画配信サイトにアップロードして理解を促している。
(2)作成した教科書・教材・参考書 スライド資料「お絵かきは、生きるチカラ」	2015年4月	幼児の描画活動の理解を深めるためのスライド資料。幼児の活動の写真等を使用し、多面的な理解が可能な資料とした。
スライド資料「子どもの造形表現の意義」	2015年7月	幼児の絵の特質や発達課程を知り、絵の見方、捉え方を理解してよりよい援助に繋げるねらいをもって作成した資料。
スライド資料「造形表現指導の実際」	2018年6月	幼児の造形表現活動の適切な援助に関する理論と実際について作成した資料。理論に基づいた具体的な援助の方法について写真によってわかりやすく示した。
動画資料「紙工作の基本」	2021年6月	紙工作の基本について実技を解説する動画。遠隔授業において学生が家庭で実技制作をするために、紙の加工方法や造形方法を示す動画を制作した。実際に動画を見ながら学生は自力で制作に取り組み、工夫して楽しく制作した作品が多く提出された。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 障害児者サークルの絵画制作指導	2013年1月～現在に至る	佐賀県立金立特別支援学校(佐賀市)小学部から高等部・卒業生のサークル「はーとあーと倶楽部」にて絵画制作指導。毎年発行しているカレンダーに掲載する作品制作に取り組み、これまでに県庁や市役所等で作品発表を行なっている。
中村学園大学・短期大学部美術部門主催造形教育ワークショップ講師	2013年2月16日	中村学園大学・短期大学部美術部門主催造形教育ワークショップ「考えて、描いて、作って、造形(遊び)って面白い！」の分科会Bにおいて、保育者及び一般向けのワークショップ講師を務めた。

展覧会及びワークショップ企画	2013年12月	佐賀市唐人町商店街振興組合(佐賀市)主催「Tojin Mart」にて展覧会「はーとあーとの仲間たち展」及びワークショップ「親子でアート！」企画。
認定こども園愛の泉こどもの園(佐賀市)保護者向け講演会講師。演題「お絵描きは、生きるチカラ」	2014年2月8日	認定こども園において保護者対象の子育て講座の講師を務めた。
保育者のための保護者支援講座	2015年8月1日	佐賀女子短期大学子育てコミュニティカレッジ保育者のための保護者支援講座「お絵描きは、生きるチカラ ～表現するって、素敵なこと～」
保育者リカレント教育講師	2015年12月14日	佐賀女子短期大学子育てコミュニティカレッジ・こども学科共催の保育者リカレント教育「保育の総合的表現」講師。
九州ブロック肢体不自由児者父母の会佐賀大会パネルディスカッションパネラー	2015年11月23日	肢体不自由児者家族の会九州ブロック大会パネルディスカッションのパネラーとして登壇、テーマ「アートをみぢかに。」
佐賀県障害者芸術活動支援事業コンサルティング・ワークショップ講師	2015年度～2016年度	社会福祉法人はるが受託した平成27・28年度障害者の芸術活動支援モデル事業(厚生労働省)においてコンサルティング・ワークショップ講師を務めた。
佐賀県芸術文化協会県民文化フォーラムパネリスト	2016年2月7日	佐賀県芸術協会主催の県民文化フォーラムにおいてパネリストとして登壇。テーマ「文化維新・佐賀を目ざしてIV～新たな文化のありかたを探る」
教員免許状更新講習講師	2016年度～2021年度	佐賀女子短期大学の幼稚園教諭免許更新講習「幼児の造形教育」の講師を務めている。
佐賀女子短期大学生涯学習センター染色講座講師	2016年度～2022年度	佐賀女子短期大学生涯学習センター講座において、成人を対象とした講座で、手軽な絞り染め作品を制作する講師を務めた
佐賀県民プロジェクト「さがんなかでれっつあーと！」ワークショップ講師	2016年11月26日	NPO法人が主催するワークショップにおいて、障害児・者を中心とする対象者に佐賀市内の街中のイベントスペースで講師を務めた。個別に活動をしながらか最終的に大きな共同制作作品ができるような方法に取り組んだ。
多久市子育て支援センター子育て講座講師	2017年度～2022年度	佐賀県多久市子育て支援センターにおいて子育て講座の講師。テーマ「親子でスタンプ遊び」
佐賀県学校適応指導教室美術実習講師	2017年度より毎年	佐賀県教育センター内の学校適応指導教室において、中学生を対象とした美術の実技指導の講師を務めている。絵の具をローラーや刷毛、スタンプインク等によって布に着色し、共同で一枚の大きなフラッグ制作に取り組んでいる。
神野公民館小学生ものづくり講座講師	2017年度～2022年度	佐賀市神野公民館・佐賀女子短期大学生涯学習センター共催の小学生を対象としたものづくり講座の講師を務めている。これまでトートバッグ制作、絞り染め、恐竜の卵づくり等に取り組んだ。
令和2年度佐賀県障害者芸術文化活動普及支援事業オンラインセミナー講師	2020年9月	社会福祉法人はるが受託した令和2年度佐賀県障害者芸術文化活動支援事業において支援者を対象とするオンラインセミナーの講師を務めた。制作過程にも目を向け、多様な作品の価値に気づき、障害がある人の活動支援や評価に結びつけるための視点をテーマにしたセミナーで、視聴者からは活動の受け止め方や支援の方法が理解できた等の感想が得られた。□
令和2年度佐賀県障害者芸術文化活動普及支援事業ワークショップ講師	2020年度	社会福祉法人はるが受託した令和2年度佐賀県障害者芸術文化活動支援事業において支援者を対象とするワークショップの講師を務めた。まずは支援者にさまざまな画材に触れてもらい、支援する対象者にとってよりよい方法についてヒントとなる実技を体験してもらった。参加者からは活動自体がとても楽しく、今後の支援の参考になったという感想が得られた。

令和3年度佐賀県障害者芸術文化活動普及支援事業ワークショップ講師□	2021年度	社会福祉法人はるが受託した令和3年度佐賀県障害者芸術文化活動支援事業において支援者を対象とするワークショップの講師を務めた。内容は前年度を踏襲しながら、開催場所や対象団体の幅を拡げたことによって、これまでに届けに くかった地域や対象者の幅が広がる手応えがあった。
令和4年度佐賀県障害者芸術文化活動普及支援事業ワークショップ講師□	2022年度 以後毎年	令和4年度以降同事業において講師を務めている。
三瀬ふれあいチャレンジ塾講師	2022年11月3日 以後毎年	佐賀市三瀬校区社会福祉協議会が主催する小学生対象の講座で染色等の体験講座の講師を務めている。
尚綱大学附属こども園子育て支援室親子おもちゃ作り講師	2023年6月・2024年2 月以後毎年	未就園児親子を対象に、牛乳パックやペットボトルキャップ等の身近な廃材等を用いた玩具作りの講師を務めている。
(4)その他教育活動上特記すべき事項 佐賀女子短期大学こども未来学科こども保育コースにおける「保育表現ユニット」の指導実績	2018年度～2022年度	「保育表現ユニット」とは、造形表現・音楽表現・身体表現について専門性を高め、総合的な表現力を身に付ける科目ユニットである。その科目群の一つ「美術工芸Ⅲ」の授業担当者として、他科目の担当教員と協働して学生指導にあたった。専門分野の指導に加え、ユニット科目の全体的な授業計画、準備・練習計画、学外団体・施設との連絡等も担当し、ある演目を仕上げて学外で実践するための全体的なマネジメントも担当した。学生たちの力を引き出し、自信をつけ、現場に生かせる実践力を高めた。
卒業研究「木育」の取り組みの指導実績□	2018年度～2022年度	平成30年より卒業研究において「木育」をテーマに取り組んでいる。まずは学生自身に環境保護やSDGsについて考えて欲しいという意図があり、これまでに佐賀市富士町の「森林学習展示館」を訪れ、スタッフから森林の働きや人と森林との関わり等の説明を聞くことや、植林地の伐採作業を見学に行く取り組みを行った。見学後は木材を使ったおもちゃ作りに取り組み、素材としての木材や加工する用具に触れることによってさらに知識を深め表現の幅を拡げる指導をした。学生たちは電動工具も扱って乳児・幼児向けの木のおもちゃを毎年完成させた。□

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著 の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻、号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
なし					
(論文)					
滲みとかたち	単著	1991年5月	佐賀大学美術・工芸科教育 学研究室『造形教育学 実践研究会報告』第2号		pp.74-77
滲みと線	単著	1991年5月	佐賀大学美術・工芸科教育 学研究室『造形教育学 実践研究会報告』第2号		pp.78-87

色彩に関する教材開発とその教材ビデオ制作についての研究(7)-教材『滲みと線』	共著	1992年2月	『和歌山大学教育学部紀要』(教育科学・第2分冊)第41集	江上(旧姓)登美子、永守基樹	pp.55-91
感性を開く造形表現教材-手作り色紙コラージュの可能性	単著	2016年2月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第50集		pp.195-209
生きる力としての表現-障害者の芸術活動支援モデル事業におけるコンサルテーション報告(1)	単著	2016年7月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第51集		pp.199-208
佐賀県における子育て支援員研修の成果と課題～実施概要とアンケート調査の結果から～	共著	2016年7月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第51集第1号	菅原 航平、古川 隆幸、田口 香津子、小川 鮎子、山田 久三江、松本 勇治、大江 登美子	pp.213-230
生きる力としての表現-障害者の芸術活動支援モデル事業におけるコンサルテーション報告(2)	単著	2017年2月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第51集第2号		pp.373-380
幼児教育と小学校教育の接続の視点による「造形遊び」の意義の考察	単著	2017年9月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第52集第1号		pp.51-63
個を生かす共同制作の手法の研究-障害者の芸術活動支援における「パッチワーク的手法」の研究(査読付)	単著	2018年3月	日本基礎造形学会誌『基礎造形026』		pp.21-28
保育者養成課程における子どもの描画活動の理解を深める授業の実践と考察-活動記録とアンケートから-	単著	2019年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第53集		pp.51-63
実習指導のあり方実践研究Ⅲ-養成校と付属園が連携して取り組む実習指導の課題-	共著	2019年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第53集	大江登美子、大村綾、村岡直子、宮津百合江	pp.175-182
材料・用具と子どもの描画活動の関連-観察と援助の記録の計量テキスト分析の試み-	単著	2020年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第54集		pp.161-174
保育者養成課程における子どもの描画活動の理解を深める授業の実践と考察Ⅱ-読み取り記録の計量テキスト分析から	単著	2021年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第55集		pp.13-20
障害児者の共同制作の取り組み-造形サークル支援の現場から-	単著	2021年3月	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』第19号		pp.18-21

幼児教育と小学校教育の接続の視点による「造形遊び」の歴史的考察(1)1977(昭和52)年版小学校学習指導要領図画工作編をめぐって	単著	2022年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第56集		pp.15-29
Identifying Learning Concepts in Art Activities: Teaching Strategies for Inclusive Group Learning(査読付き)	共著	2023年2月	International Journal of Disability, Development and Education Published online: 08 Feb 2023	Satoshi Ikeda, Tomiko Oe, Tamami Kitajima & Yosuke Shibata	https://doi.org/10.1080/1034912X.2023.2175200
題材を設けない一斉描画活動における環境設定と援助—ある認定こども園3歳児の事例	単著	2023年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第57集第2号	大江登美子、青沼未来	pp.149-180
保育現場とつくる共同体制(1)～学生から保育現場に向けた実習事後アンケートの報告から～	共著	2023年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第57集第2号	相浦雅子、池上奈摘、大江登美子、松本勇治	pp.141-148
一斉描画活動における環境設定と援助—ある認定こども園の題材を設けない活動事例に基づく考察—(査読付き)	共著	2024年3月	『美術教育学研究』第56号	大江登美子、青沼未来	pp.65-72
(その他)報告・研究ノート等					
題材を設けない一斉描画活動における環境設定と援助—ある認定こども園4歳児と5歳児の事例—	共著	2024年10月	『児やらい』(尚綱子育て研究センター研究誌)第20巻	大江登美子、青沼未来	pp.51-66
「佐賀県障がい者芸術文化活動支援センターSANC」の取り組み:文化芸術へのアクセシビリティ向上の為に	共著	2024年3月	『アートミーツケアvolume 15』(アートミーツケア学会オンラインジャーナル第15号)	大江登美子、大石哲也	pp.1-10
(その他)学会発表					
幼児の造形表現活動を育む保育者の養成—学びから保育へ繋ぐ実践と考察	単独	2017年3月	第1回日本保育者養成教育学会第1回研究大会口		
造形表現活動の意義と環境づくりの考察—障害者活動支援の実践より	単独	2017年3月	第39回美術科教育学会静岡大会口		
個を生かす共同制作の手法の研究—障害者の芸術活動支援における「パッチワーク的手法」の実践と考察—	単独	2018年9月	日本基礎造形学会第29回埼玉大会口		

共生社会の実現を目指す複数校種等での同一題材実施プロジェクト	共同	2019年3月	第41回美術科教育学会北海道大会□	池田吏志、大江登美子、北島珠水、柴田洋佑	
子どもの描画活動の観察・援助記録の計量テキスト分析の試み	単独	2020年3月	第42回美術科教育学会千葉大会□		
早春(作品発表)	単独	2021年8月	第32回日本基礎造形学会東北大会		
佐賀県障害者芸術文化活動支援センターの取り組みー文化芸術へのアクセシビリティ向上に向けて	共同	2022年3月	第44回美術科教育学会東京大会□	大江登美子、大石哲也	
題材を設けないー斉描画活動における環境設定と援助ーある認定こども園の事例	共同	2023年3月	第45回美術科教育学会兵庫大会□	大江登美子、青沼未来	
未就園児及び保護者の交流の場における遊び提供の試み・家庭において継続・展開が期待できる造形活動	単独	2024年8月	第35回日本基礎造形学会長崎大会	大江登美子、溝上義則	
Walking Path(作品発表)	単独	2024年8月	第35回日本基礎造形学会長崎大会		
(その他)シンポジウム					
インクルーシブ教育システムにおける美術(1)ー特別支援学校および卒業後の多様な実践事例の検討ー	共同	2017年9月	日本特殊教育学会第55回大会in Aichi□	池田吏志、柴田洋佑、北島珠水、高橋智子、大江登美子、池永真義	
インクルーシブ教育システムにおける美術(2)ー複数校種等での同一題材実施による学習/指導の連続性の検討ー	共同	2018年9月	日本特殊教育学会第56回大会in Osaka	池田吏志、柴田洋佑、北島珠水、大江登美子、高橋智子	
(その他)総説					
すべての人の心にキャンバスを	単著	2020年7月	公益財団法人佐賀県芸術文化協会『佐賀の芸術文化ー未来への展望-2020』□		pp.36-45
創作体験ワークショップ振り返り	単著	2021年3月	社会福祉法人はる『令和2年度 佐賀県障害者芸術文化活動普及支援事業報告書 SAGA ART BRUT NETWORK 2020-2021』□		p.18

創作体験ワークショップ 振り返り	単著	2022年3月	社会福祉法人はる『令和 3年度 佐賀県障害者芸術 文化活動普及支援事業 報告書 SAGA ART BRUT NETWORK 2021- 2022』		p.9
(その他)個展					
江上登美子展	単独	1988年3月3日～3 月8日	ギャラリーラ・ポーラ(久留 米市)□		
江上登美子作品展	単独	1990年4月11日～4 月16日	ギャラリーツースリー(佐 賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2002年1月8日～1 月23日	ギャラリーIBAH(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2003年4月16日～ 27日	ギャラリーIBAH(佐賀市)		
江上登美子作品展	単独	2004年7月2日～7 月11日	ギャラリーショップ憩ひ(佐 賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2005年6月17日～6 月26日	ギャラリーショップ憩ひ(佐 賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2006年9月26日～ 10月1日	ギャラリーRAKU(唐津市)□		
江上登美子作品展	単独	2006年10月20日～ 10月29日	ギャラリー憩ひ(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2007年6月15日～6 月24日	ギャラリー憩ひ(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2007年9月17日～9 月22日	ギャラリーRAKU(唐津市)□		
江上登美子作品展	単独	2008年6月11日～6 月29日	早良美術館るうゑ(福岡 市)□		
江上登美子作品展	単独	2008年9月14日～9 月20日	ギャラリーRAKU(唐津市)□		
江上登美子作品展	単独	2009年11月13日～ 11月17日	ギャラリーRAKU(唐津市)□		
江上登美子作品展	単独	2010年2月25日～3 月15日	早良美術館るうゑ(福岡 市)□		
江上登美子作品展	単独	2011年2月16日～3 月6日	早良美術館るうゑ(福岡 市)□		
江上登美子作品展	単独	2011年5月24日～6 月5日	画廊憩ひ(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2012年7月3日～7 月15日	画廊憩ひ(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2013年2月16日～3 月6日	早良美術館るうゑ(福岡 市)□		
江上登美子作品展	単独	2013年10月1日～ 10月13日	画廊憩ひ(佐賀市)□		
江上登美子作品展	単独	2014年5月27日～6 月8日	画廊憩ひ(佐賀市)□		

江上登美子作品展	単独	2015年3月18日～4月5日	早良美術館るうゑ(福岡市)□		
(その他)展覧会企画					
はーとあーと倶楽部5年のあゆみ展	単独	2018年8月	平成30年8月		
(その他)出版物					
なんでも、ないこと(エッセイとイラスト)	単著	2004年～2023年	『葉隠研究』葉隠研究会□		
絵本『三瀬の道』	共著	2008年3月	佐賀市立三瀬小学校□		
年賀状デザイン	単著	2011年11月	『十二支まるごと年賀状2011年』普遊舎(100%ムックシリーズ)□		p.28,59,70,73,78,79,98,104,117,119,125,128
ころころタワー、ぼんぼん飛ばしっこ、変ないきもの(子どもの遊び)	単著	2021年3月	『あそび』佐賀新聞社□		p.14,17,18
ぐるぐるへびさん、ストーリーロケット、ぱたぱたボート(子どもの遊び)	単著	2022年3月	『あそび』vo.2佐賀新聞社□		p.15,16,17
絵本『おじいさんとまほうのたね』	単著	2023年11月	三瀬読み語りの会ホンホン		

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

2015年4月	美術科教育学会 会員(現在に至る)
2015年4月	日本保育学会入会 会員(現在に至る)
2016年9月	日本保育者養成教育学会 会員(現在に至る)
2017年4月	日本基礎造形学会 会員(現在に至る)
2017年6月	日本特殊教育学会 会員(現在に至る)
2018年9月	International Society for Education through Art 会員(現在に至る)
2009年4月	社会福祉法人愛の泉福祉会評議委員(現在に至る)
2015年4月	佐賀市景観賞選考委員会委員(2022年3月まで)
2015年4月	佐賀市景観審議会委員(2023年3月まで)
2015年12月	佐賀市まちづくりファンド選考委員(現在に至る)
2017年度	佐賀市教育委員会評価委員会委員(2022年度まで)
2018年6月	公益財団法人佐賀県芸術文化協会理事(2023年6月まで)
2022年1月	アートミーツケア学会 会員(現在に至る)
2023年4月	大学美術教育学会 会員(現在に至る)